

# 大河津分水って??

日本一長い川、信濃川。流れる水の量も日本一。私たちの暮らしに必要な水をたくさん流します。しかし、昔は大雨などでたくさん水害がおこった暴れ川でした。そこで、人々の命と暮らしを守るため、平地と山を切り開き、人工の川「大河津分水路」を作りました。100年以上前に作られた「大河津分水路」。今も越後平野の人々の暮らしを水害から守っています。

この大河津分水には、水をコントロールする新旧の堰や、多くの石碑があります。桜並木も見事な、春の大河津分水を歩いてみませんか？ガイドがわかりやすくご案内します。

## ⑤旧洗堰

大正11年につくられ、平成12年まで使われました。平成14年に国の有形文化財に登録され、現在は旧洗堰のゲート下を潜り抜けることができます。



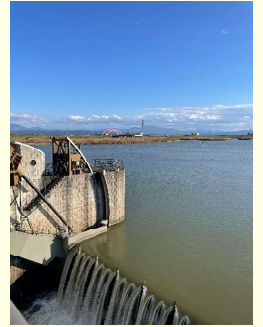
## ④旧可動堰

陥没した自在堰のかわりに昭和6年につくられました。平成23年までの80年に渡り、越後平野を水害から守りましたが、現在は3門残されています。



## ③可動堰

主に大河津分水路に流す水量をコントロールし、平成23年につくられました。少し丸い形をしたラジアルゲートが使われています。



令和7年3月29日(土)

予約不要！ふらっと周辺めぐり開催！

資料館内外をご希望に応じてご案内します。自転車に乗ったり、のんびり歩いたり春の大河津分水を満喫しましょう



**大河津分水 さくら公園**  
20種類以上の桜や四季折々の花木のある憩いのスポット。遊具もあります。

## ⑥洗堰



主に信濃川に流す水量をコントロールし、平成12年につくられました。日々の生活や田畑で使う水を一定量流し続けています。

## ①信濃川大河津資料館



大河津分水ができる前の新潟の暮らしや、工事についてたくさんの展示があります。4階展望室からは雄大な景色が楽しめます。

## ②大河津分水路右岸堤防第一公園

大河津橋を越えた先に、桜並木のトンネルが続いています。遊歩道になっていて、お散歩におすすめです。

